平成３０年度　志教育全体計画

宮城県名取北高等学校

校　　訓

「人間愛」・「創造」・「貢献」

本校の教育目標

１　人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えた逞しい人間を育てる。
２　創造の精神を尊び、積極的に自己啓発に努める人間を育てる。
３　新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる

生徒の実態，教師の願い

穏やかで健やかな高校生活を過ごしている。素直で心優しい生徒が多いが、高い志を持って自分の道を切り開こうとする意欲があって欲しい。

保護者や地域の願い

〇意欲的に自分の人生を切り開いていって欲しい
〇公衆道徳やルールを守るだけではなく、積極的に地域貢献をして欲しい。

「志教育」の目標

１　自身と社会との関わりを認識し広い視野に立脚した志を育成し、己の志を達成するための逞しさを持った生徒を育てる。
２　自身の志を追求するだけではなく仲間の志も尊重し、社会にも貢献する姿勢をを身につけさせる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
〇各種講演会・進路行事を通して自己理解・他者理解を深めさせる。 〇学校行事・学年行事に積極的に関わらせることで、人間関係形成能力や社会性を養わせる。	〇教育活動全体を通して学校で学ぶ知識と職業や社会との関連を実感させる。 〇奉仕活動や進路行事を通して将来の自分の社会との関わりについて考えさせる。	〇各種学校行事を通して、集団や組織の中で自分の果たすべき役割について考えさせる。 〇ホームルーム活動や部活動に積極的に取り組ませ生徒の達成感・自己有用感を高めさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科の指導内容と社会や職業との関連を意識させる指導を行うと共に学問としての現代的な課題を学ばせることで学ぶことの意義をつかませ学習意欲の向上を図る。
道徳	自己を探求し、生涯にわたって主体的に自己実現を目指していく意欲を高める。公共の精神を尊び、郷土や地域社会の発展に寄与していく態度を養う。
総合的な学習の時間	志教育の中核として位置づけ、志を立て実現するために必要な視野の広さや諸能力に気づかせ養うきっかけの時間とする。各種講演会などを積極的に実施し、生徒が自らの力で、骨太に進路を考える場を提供する。
特別活動	学校行事などを通して生徒会活動・ホームルーム活動を活発化させるだけではなく地域貢献にも取り組み、人間関係形成力を高め、集団の中で自分の果たすべき役割を考えさせる。
その他	地域社会との連携を深め、自分の役割を積極的に果たすことで公共心を育て、将来の主権者としての自覚を高める。

各学年の取組内容

１年	教育活動全体を通して、高校生活の人生における位置づけを認識させ志を確立するための意識付けを行い、自己理解や進路に関する基本的な知識を身につけさせる。また各種行事などへの積極的な取り組みを通して集団を支えていく役割の大切さに気づかせる。
２年	学問や社会について広く考えさせる機会を設けより広く深い思考から自分の志を確立させる。また志の実現に向けて様々な学習活動に主体的に取り組むような意識付けを行う。また後半からは中心学年として学校行事などに積極的に取り組ませ、自らの力で考え、まとめ、活動の中で自分の組織の中での位置について考えさせるようにする。
３年	生徒が志の達成に向けて最大限の努力ができるように支援する。またその努力を継続させることの大切さに気づかせる様にする。また最上級生として集団の先頭に立つことを経験させ、自身の将来について主体的に考えさせる。

家庭との連携

生徒を通して、志教育の取り組みを家庭にも連絡し生徒に家庭からも助言や励ましが得られるようにすることで、より深く考えられるようにする。

地域･企業との協働

各教育機関・企業・経済団体などと連携し多様な教育活動を展開し生徒に様々な角度から自身の将来のありようについて考えさせたり、他者を思いやりながら、自分の能力を高めさせるような場を提供する